

運輸安全委員会 入札監視委員会 平成24年度 定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成24年11月30日(金) 運輸安全委員会 意見聴取室	
委員	委員長	重田 晴生 (青山学院大学名誉教授・弁護士)
	委員	大住 莊四郎 (関東学院大学経済学部教授)
	委員	渡辺 務 (弁護士)
審議対象期間	平成23年10月1日～平成24年9月30日	
審議案件	4件	
一般競争入札	2件	運輸安全委員会事故調査報告書データベースシステム機能向上
		飛行航跡CG解析装置等保守
企画競争	1件	NTSBマニュアル等翻訳業務
随意契約	1件	北海道旅客鉄道株式会社石勝線における列車脱線事故の調査・分析
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質問	回答
<p>《運輸安全委員会事故調査報告書データベースシステム機能向上》</p> <p>資格審査では4業者の応募があったのに辞退が2業者あるのはなぜか。もう少し応札者が増えるよう工夫できないか。</p> <p>システムの機能向上は特殊な内容のものなのか。</p>	<p>複数業者が仕様書を取りに来たものの、結果的に参加者が4業者、応札者は2業者であった。今回もホームページ及び合同庁舎2箇所での公告を実施して案件の周知を行ったところであるが、今後同様な事案があった場合には、より多くの業者が参加できるように各種検討していきたい。</p> <p>システムに導入済みのソフトウェアをバージョンアップすること及び検索機能を付加することが目的であり、基本的に特殊なものではない。ただし現在の環境(データの連動やリンク等)を保護するため、同環境を解析したうえでデータを移行する必要があり、プログラム構築を業務とする業者による実施が必要なものである。</p>
<p>《飛行航跡CG解析装置等保守》</p> <p>積算はどのように行っているのか。</p>	<p>積算資料や物価資料等で積算できないような場合は、複数の業者から参考見積書を取り、適正であれば廉価な見積書の金額を積算価格に採用している。今回のように特殊な装置の保守の場合は、1社からしか参考見積を頂けないこともある。</p>
<p>《NTSBマニュアル等翻訳業務》</p> <p>企画競争で1社を選定して見積徴収により選定された業者と契約しているが、総合的に価格も含めた契約方法により競争する方法も検討した方が良いのではないか。</p>	<p>今後同様な事案があった場合には、試訳により評価するなどにより、複数社選定し、その後価格競争するような方法を検討していきたい。</p>
<p>《北海道旅客鉄道株式会社石勝線における列車脱線事故の調査・分析》</p> <p>特になし。</p>	